



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

### 1. 浚渫工事の砂を活用して覆砂した海域でマコガレイの産卵が確認されました！！

千葉港湾事務所

○千葉港湾事務所では、令和元年の5月から6月にかけて、浚渫工事で発生する砂を活用し、習志野市茜浜地先の海域にマコガレイの産卵に適した海底地形を形成する「覆砂」を実施しました。

○この取り組みは、東京湾再生に向け組織された“東京湾再生官民連携フォーラム”による政策提案「東京湾北部沿岸におけるマコガレイ産卵場の底質改善」を実現するため、同フォーラムの中の“生き物生息場づくりPT”や関係する漁業協同組合等と連携・協働して進めて来たものです。

○昨年の12月24日、生き物生息場づくりPTと千葉県水産総合研究センターが協力して実施した調査において、当事務所が覆砂を実施した地点でマコガレイの産卵が行われていることが確認されました。

○当事務所では、工事発生土の有効活用をはかることにより、これからも同海域におけるマコガレイ産卵場の形成に役立つ取り組みを進めてまいります。

別紙・参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1126 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/chiba-p\\_00000032.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/chiba-p_00000032.html)

### 2. ハッ場ダム始動！～東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、水資源の確保のため、貯留を開始！～

関東地方整備局  
河川部

ハッ場ダムについては、令和元年10月1日より試験湛水を開始し、貯水位を上昇および下降させて、ダム堤体および貯水池周辺の安全性の確認を行うとともに、最低水位を維持した状態で貯水池内の流木処理などの作業を行ってきました。

この度、一連の作業が終了し、ダム堤体および貯水池周辺の安全性が確認でき、ダムの機能が発揮できる状況が整ったため、3月9日をもって試験湛水を終了し、3月31日にハッ場ダムが完成する予定です。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、水資源の確保のため、3月10日からハッ場ダムの貯留を開始しました。

今後も、引き続き気象状況を注視するとともに水不足が生じないようダム等の供給施設のきめ細やかな運用を行ってまいります。

別紙・参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [194 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river\\_00000513.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000513.html)

### 3. 新たに3箇所の「かわまちづくり」計画が登録！ ～河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成に向けて～

関東地方整備局  
河川部

国土交通省は、令和2年3月13日付けで「かわまちづくり」支援制度に係る計画の登録を行います。関東地方整備局管内においては、新たに3箇所の「かわまちづくり」計画が登録されましたので、お知らせします。


また、新たに登録された「かわまちづくり」計画に対し、市区町長へ「かわまちづくり」計画の登録証を手交する伝達式を行う予定です。登録証伝達式の詳細は決まり次第お知らせいたします。

「かわまちづくり」とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地元住民等と河川管理者が各々の取組を連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。

#### 添付資料

- ・ 本文資料(PDF)別紙1 登録箇所位置図
- ・ 本文資料(PDF)別紙2-1~3 各計画の概要
- ・ 参考 かわまちづくり支援制度の概要

別紙・参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [2293 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river\\_00000514.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000514.html)

### 4. 「道の駅」が新たに2駅登録へ ～関東地方整備局管内では180駅に～

関東地方整備局  
道路部

今回、関東地方整備局管内では、新たに以下の2駅が登録(令和2年3月13日付け)され、合計で180駅(全国1,173駅)となりました。

○神奈川県 南足柄市  
(市道塚原・斑目線)

道の駅「足柄・金太郎のふるさと」 令和2年度オープン予定

○長野県 茅野市

(主要地方道茅野停車場八子ヶ峰公園線)

道の駅「ビーナスライン蓼科湖」 令和2年度オープン予定

■関東地方整備局管内180駅の内訳

茨城：14駅、栃木：25駅、群馬：32駅、埼玉：20駅、千葉：29駅


東京：1駅、神奈川：4駅、山梨：21駅、長野：34駅

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、四半世紀が経過し、国土交通省では、2020年からを第3ステージ「地方創生・観光を加速する拠点」として位置づけており、新たに加わった道の駅とともに取組みを進めてまいります。

「道の駅」の情報については関東地方整備局の「道の駅」ホームページでもご覧になれます。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/road/chiiki/index00000009.html>

別紙・参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1055 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_0000291.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_0000291.html)

## 5. “地域インフラ”サポートプラン関東 ～「技術者スピリッツ」紹介～

関東地方整備局 企画部

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作ろうと技術者が日々努力をしています。世界に一つだけの工事に携わる技術者に光をあて、関東地方整備局ホームページ (<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000022.html>) にて紹介しています。

(現在、325話まで掲載中)

是非ご覧いただき、「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000022.html>

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 簡易型河川監視カメラ画像のウェブ提供を開始しました ～ 河川監視カメラが1.6倍に増えます ～

身近な河川の状況をリアリティをもって伝え、地域の方の避難に活用いただくため、今年度から「簡易型河川監視カメラ」の設置を進めています。

この度、平成30年7月豪雨において、大規模な浸水被害が発生した高梁川水系高梁川や小田川などをはじめ、全国に設置した簡易型河川カメラ画像のウェブサイトでの提供を開始しました。

○ 平成29年7月の九州北部豪雨や平成30年7月豪雨においては、洪水時に河川の状況をリアルタイムに把握する手段がなく、住民の避難行動を強く促す河川画像などの情報を発信することが課題でした。

○ そのため、多数の地点に設置ができる簡易型のカメラを「革新型河川技術プロジェクト」において開発しました。（詳細は別紙参照）

○ 今年度から現地へのカメラ設置を開始し、令和2年2月26日時点で224箇所の画像の提供を始めました。

○ 今後、カメラの設置を進め、令和2年出水期までに国管理河川約1,600箇所の画像の提供を開始する予定です。既に画像を提供している従来型のCCTVカメラ（約2,800箇所）と合わせて、全国でこれまでの1.6倍（約4,400箇所）の河川状況が確認できるようになります。

○ カメラの画像は、以下のウェブサイトでご覧可能です。

「川の水位情報」

<https://k.river.go.jp>

添付資料

[報道記者発表](#)（PDF形式：420KB）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_001010.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001010.html)

### 2. 高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施について

我が国の高速道路においては、休憩施設同士の間隔が概ね25km以上離れている空白区間が約100区間存在しています。この空白区間を半減することを目指し、現在全国23箇所の道の駅を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」を実施しています。今回、これまでの実験における「時間が短いため十分な休憩ができない」などのご意見を踏まえ、現在実験中の全国23箇所の道の駅を対象に、令和2年3月27日（金）0時より一時退出可能時間を現行の1時間から3時間へ引上げ、引き続き検証を進めます。

<実験概要>

1. 内容：ETC2.0搭載車を対象に、高速道路を降りて道の駅に立ち寄り後、3時間

以内に再進入した場合※1には、降りずに利用した料金のままとする  
(ターミナルチャージ※2の再徴収をせず、長距離通減※3等も継続)

※1 順方向に向かう場合のみ

※2 利用1回当たりの料金(高速自動車国道のみ)

※3 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引

#### 措置

2. 日時 : 令和2年3月27日(金) 0時より一時退出時間の引上げを開始※4

※4 実験対象ICを0時以降に流出した

#### 車両が対象

3. 実施箇所 : 全国23箇所の道の駅(別添資料の通り)

・参考資料 : 現在実験中の道の駅における利用状況

(参考) ETC2.0については、(一財)ITSサービス高度化機構「ETC総合情報ポータルサイト」をご参照ください。<http://www.go-etc.jp/etc2/index.html>

#### 添付資料

[記者発表資料](#) (PDF形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001296.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001296.html)


### 3. 測量業者、登録申請の書類が大幅簡素化！本年4月1日より運用開始 ～財務関係書類(法人)を大幅に簡素化し、手続きコストを削減～

国土交通省は、測量業(法人)の登録申請に必要な財務関係書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び注記表)について、行政手続コスト(事業者の作業時間)削減のため、測量法施行規則を改正し、従来の様式を廃止して新たに定める財務事項一覧表並びに会社法等の規定に準拠した既存の貸借対照表及び損益計算書とします。(別紙)

※なお、「完成測量原価報告書」は引き続き必要となります。

- ・令和2年3月31日までに決算期の到来した事業年度にかかる書類については、改正前の様式に基づいて作成することができます。
- ・今回改正した財務に関する書類等は、国土交通省HPでご確認いただけます。  
([http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000209.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000209.html))

#### 添付資料

[報道発表資料](#) (PDF形式) 

[別紙\\_測量法施行規則改正概要](#) (PDF形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14\\_hh\\_000900.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000900.html)